

放射能から命を守れるの？ 市民の目で避難訓練を検証しよう

玄海原発避難訓練・事前学習会

10月4日（火）14時～福岡あすみん
玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会
佐賀市伊勢町 2-14 TEL：0952-37-9212 saiban.jimukyoku@gmail.com

原発避難計画は「移住計画?」「被ばく計画?」

田中俊一・原子力規制委員会委員長「新規制基準と防災・避難計画が車の両輪」と言いつつ、国は責任を自治体をおしつけ、誰もチェックしないのが避難計画。

福島原発事故では今なお10万人近い人々が故郷に帰れません——

10月10日、佐賀県・長崎県・福岡県で原子力防災・避難訓練が行われます。

みんなで参加・監視し、検証しましょう。

1. 佐賀・福岡での訓練の概要とチェックポイント

2. 福井県・京都府の防災訓練監視(8月27日) 政府交渉(9月9日)を踏まえて

佐賀の訓練の監視ポイント 美浜の会／避難計画を案ずる関西連絡会 島田清子さん

3. グループワーク

4. 質疑・討論

●不明な点は、直接聞いてみてください!

佐賀県 消防防災課 0952-25-7362

長崎県 危機管理課 095-895-2144

福岡県 防災企画課 092-643-3115

■放射能が来たら“実測値”で避難
基準は平時の・・・**10000倍**

5キロ圏内 「予防的」避難

5～30キロ圏内

まず屋内退避。実測値で...

◆500マイクロシーベルト/時

数時間を目途に区域を特定し避難指示
(移動困難な人は屋内退避)

◆20マイクロシーベルト/時

一日をめどに区域を特定し、一週間以内に避難。
さらに1日、屋内退避でガマンすることに!

平常時0.05μSv/hの
1万倍

400倍

実測値による避難 = 被ばく計画!

佐賀・福岡での訓練の概要とチェックポイント

(1) 訓練参加者数

3 県 30 キロ圏の人口約 26 万人のうち、防災訓練参加住民は 2554 人、わずか 1.0%
そのうち「避難訓練」に参加するのは佐賀県で 639 人で、30 キロ圏人口の 0.3%のみ。
福岡県は 9 割が屋内退避訓練のみ。避難訓練参加は 92 人、30 キロ圏人口の 0.6%。

訓練参加住民数	公表数	30 キロ圏人口比	避難訓練参加数	30 キロ圏人口比	屋内退避訓練参加数	30 キロ圏人口
佐賀県	764	0.4%	639	0.3%	—	192817
福岡県	1140	7.5%	92	0.6%	1147	15300
長崎県	650	1.3%	—	—	—	50979
3 県合計	2554	1.0%				259,096

※佐賀県の屋内退避訓練参加者数は当日公表

※長崎県の詳細は教えてもらえず

★九州電力取締役「九州は全部地元」（9.27 佐賀県県議会）→**九州 7 県 1300 万人!**

◆内訳

・福岡県 「参加者」のうち 92%は屋内退避訓練のみ。

屋内退避 1147 人 松原 378 人、吉井上 550 人、波呂 179 人（全住民）、姫島 40 人
うち避難 92 人 松原 40 人（バス）、吉井上 40 人（バス）、吉井上 12 人（車）

・佐賀県 避難訓練参加数 639 人（=789-150）

玄海町 329 人（バス 279 人、車 10 人、玄海園 45 人）

唐津市 300 人（バス 110 人、船 30 人、へり 10 人、離島屋内退避 150 人）

伊万里 160 人（バス 108 人、車 52（15 台））

(2) 訓練の大きなポイント

「熊本地震を踏まえているか」「放射能からの避難であること」

●熊本地震を踏まえているか？「避難経路の通行不能」「屋内退避が困難」

・熊本地震では本震直後 200 か所で通行止め。今回の訓練では 2 か所が通行止め。

・原発 5 キロ圏外は「屋内退避が基本」のまま。

●安定ヨウ素剤

配布訓練は佐賀県は 3 か所、集合場所で配布。福岡県は糸島市役所で粉末調製訓練のみ。

●スクリーニング（放射能汚染検査）

佐賀県は杵藤クリーンセンターのみ。福岡県は各中継所で行うが、参加人数を。

●避難手段

実際はマイカーが基本だが、マイカーは玄海町 10 台、唐津市 0 台、伊万里市 15 台。

実際事故時もヨウ素剤受け取るために集合場所等に行く必要がある。バスは県がバス協会に依頼

●小中学生の保護者引き渡し

佐賀では今回初めて引き渡し訓練。玄海小学校 300 人を屋内退避後、引き渡すが、迎えに来るのは 50 世帯のみ。避難訓練は行わない。福岡では姫島小と志摩中姫島分校の 30 人のみ。

●医療機関 訓練なし。30 キロ圏に 67 施設 3300 人の患者。重篤患者以外はすべて 3 か所の医療救護所に搬送してから振り分ける計画。

放射能から逃げることを想像してみてください

- ①家族同然のペットは？
- ②プルームの情報はどこから誰がだすのか。
- ③安定ヨウ素剤について
 - ㊦事故後、集合場所で配布となっているが間に合うのか？
 - ㊧ヨウ素剤の服用指示は「規制委員長(委員会)」が出すとなっているが、いつ出すのか？
 - ㊨「副作用が心配」とよく言われるが、事故の最中に医師や薬剤師が直ぐ来て説明してくれるのか？
 - ㊩副作用を理由に事前配布を躊躇しているが、事前配布しかないのではないか。
- ④スクリーニング
 - ㊦事前に住民にスクリーニングが必要と知らせているのか？知らされていない住民はスクリーニングはせずに避難するのは当然である。その場合、福島ではスクリーニング終了書を持たなかったため「避難所に入れてもらえなかった」ということがおきた。
 - ㊧防災訓練では、「代表者検査」となっている。この代表者が汚染なしなら、同乗者全てが汚染なしとなる。行動が同じグループの代表という意味での代表者検査としているが、行動が同じはずがない。規制委が全員検査から「代表者検査」に指針を改悪したが、滋賀県等は独自に全員検査としている。
 - ㊨スクリーニング場所は「一方通行でやる必要ある」
 - ㊩屋外にテントを張って住民の検査をしたら、被ばくするのではないか？放射能が高い状況で屋外は不適切ではないか？
 - ㊦スクリーニング場所は「一方通行でやる必要ある」佐賀、福岡の今年の訓練でも、入口と出口が一緒だった。入口と出口が同じでは、除染しても意味がない。
 - ㊧除染で出た汚染水やウエットティッシュなど、どう処理するのか？
- ⑤独居老人、一人暮らしの人の確認は誰がするのか？このことは、共助(地域住民の助け合い)になっていることを住民に知らせるべきである。
- ⑥佐賀県は、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校の子ども達の「保護者への確実な引き渡し」を原則としているが、そのことは各住民に伝わっているにか？その際お迎えの車が渋滞することは想定できるが、その対応はどうするのか？(*ある糸島での事例・・・『保護者からの質問に「歩いてきてください」といった』)
- ⑦福祉施設の入居者の家族との連絡はされているのか？
- ⑧医療機関の訓練は無しとなっているが、薬や治療に関わる機材はどうするのか？受け入れ病院をどうやって探すのか？プルームを避けた病院を探す手だてはあるのか？
- ⑨福祉施設や病院など屋内退避になったときは、食品の備蓄はあるのか、職員は誰が残るのか、日頃から想定しておくべきではないか？
- ⑩今回の避難訓練は、どのくらいの期間を想定しているのか。
- ⑪避難訓練終了後、数カ所で放射能安全講話が毎年行われているので、皆さんもぜひ参加してみてください。どんな話がされるのか？

2016 年度佐賀県・長崎県・福岡県原子力防災訓練概要

◆平成 28 年 10 月 10 日（月曜日） 8 時 00 分～13 時 30 分

◆主な訓練内容

住民避難訓練／緊急時通報連絡訓練／緊急時モニタリング訓練／
原子力災害医療対策訓練／原子力発電所における緊急時対応訓練

◆災害想定

「佐賀県内で発生した地震（震度 6 弱）により、玄海 3 号機で原子炉冷却材の漏えいが発生。全交流電源喪失、炉心冷却の機能がすべて喪失、全面緊急事態となった。」

（事象進展）

8：00 警戒事象連絡（原子炉冷却材漏えい）

8：30 原災法第 10 条通報、施設敷地緊急事態要避難者避難指示

9：00 原災法第 15 条通報

9：10 原子力緊急事態宣言発出、PAZ 一般住民避難指示、UPZ 屋内退避指示

10：00 原災法第 15 条通報（続報）（敷地境界付近の放射線量の上昇）

10：20 UPZ 特定地域 OIL2 による避難指示

【佐賀県内の住民避難訓練】

避難元	キロ 圏	地区名	人 数	避難先	ヨウ素剤	検 査	備考
玄海町	5	平尾地区	33	小城市・ゆめぷらっと小城	×	×	要支援者 1、支援者 2
	30	諸浦地区	40	小城市・ゆめぷらっと小城	玄海町役場	×	道路寸断、う回路
	30	玄海中学校	208	小城市・ゆめぷらっと小城	×	×	スクールバス 1、大型バス 3。
唐津市	5	肥前町京泊	30	白石町・有明西小	×	×	道路寸断、う回路
	30	巖木町本山	30	佐賀市・芙蓉校	×	×	
	30	宇木地区	50	鳥栖市・若葉小	宇木公民館	×	
	30	神集島	30	船舶→唐津港	×	×	佐賀市の避難所には行かず
	30	松島	10	へり→松浦河畔公園	×	×	江北町の避難所には行かず
	30	5 離島	各 30	屋内退避	×	×	高島、小川島、加唐島、馬渡島、向島
伊万里市	30	大坪地区	160	太良町・太良高校	大坪公民館	○	道路寸断、う回路
＜福祉施設＞							
玄海町	5	特養玄海園	40	多久・天寿荘、佐賀・桂樹苑	×	×	入所者 18、職員 22。 施設車 2、避難先 1、 中型バス 1、自衛隊 1
唐津市	30	からつ学園	14	佐賀市・富士学園	×	×	入所者 10、職員 4。 施設バス 2

佐賀県実施要領より 裁判の会作成

【福岡県内の住民避難訓練】

スクリーニング

(3) 広域避難訓練

項目	避難元	一時集合場所	中継所等	避難先
①-1 屋内退避訓練	志摩地区 松原行政区 二丈地区 吉井上行政区	—	—	—
①-2 屋内退避訓練 (UPZ 外住民)	二丈地区 波呂行政区 (福岡市早良区)	—	—	—
②-1 自家用車避難	二丈地区 吉井上行政区	—	—	福岡県立城南高等学校
②-2 自家用車避難 (愛護動物同行避難)	二丈地区 吉井上行政区	—	—	福岡県立城南高等学校
③ 離島避難 (放射線防護施設での屋内退避)	志摩地区 姫島行政区	—	—	姫島福祉センター はまゆう
④-1 バス避難	志摩地区 松原行政区	引津公民館	糸島リサーチパーク	福津市中央公民館
④-2 バス避難	二丈地区 吉井上行政区	吉井上公民館	(社会システム実証センター)	福岡県立城南高等学校
⑤ 病院の避難 (病院車両)	小富士病院	—	糸島医師会病院	—
	福吉病院	—		—
⑥ 社会福祉施設等の避難 (施設車両)	特別養護老人ホーム 志摩園	—	特別養護老人ホーム 松生園 (福岡市)	特別養護老人ホーム みどり苑 (古賀市)
	障害者支援施設	—	糸島市健康福祉セン ター ふれあい	障害者支援施設
	小富士園	—		第一野の花学園 (福岡市)

1

項目	避難元	一時集合場所	中継所等	避難先
⑦ 学校等の避難 (小学生等の保護者への引き渡し)	糸島市立姫島小学校、志摩 中学校姫島分校	—	—	—
⑧ 佐賀県からの避難 (バス)	佐賀県唐津市宇木4地区	—	—	若葉小学校 (佐賀県鳥栖市)
⑨ 長崎県からの避難 (ヘリ・船舶・バス)	長崎県壱岐市	大谷運動公園	北九州空港	苅田町北公民館
		郷ノ浦港	博多港 (博多ふ頭)	
		印通寺港	博多港 (中央ふ頭)	—

(4) 原子力災害医療訓練

① 住民の避難退域時検査・除染訓練

糸島リサーチパーク、城南高等学校、苅田町北公民館、糸島医師会病院、特別養護老人ホーム松生園、糸島市健康福祉センターふれあい

② バスの避難退域時検査・除染訓練

糸島リサーチパーク

③ 健康相談訓練

城南高等学校、福津市中央公民館、苅田町北公民館

④ 安定ヨウ素剤の調製訓練

糸島市役所

粉末調製だけ

※姫島の場合(福岡県に電話確認)
8:35 防災無線で住民に伝達
9:10 屋内退避指示(40人のみ)
10:40 一時移転指示 自宅から放射線防護設備のある「はまゆう」へ。
時化で船が出ず、屋内退避継続。
11:55 訓練終了予定

「全住民(185人)は避難しないんですか。」「無理です」

<福岡県実施要領より抜粋>